

表 2.2.1-1 都道府県庁所在地の市役所（東京都は都庁）及び北海道の各振興局位置における今後 30 年以内に震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率値の比較

地点	超過確率 (30年震度6弱)		地点	超過確率 (30年震度6弱)	
	2018年版	2020年版		2018年版	2020年版
札幌市役所	1.6%	2.2%	金沢市役所	6.5%	6.6%
石狩振興局(札幌市)	1.6%	2.2%	福井市役所	13%	15%
渡島総合振興局(函館市)	1.5%	1.5%	甲府市役所	50%	36%
桧山振興局(江差町)	1.1%	1.4%	長野市役所	5.7%	6.1%
後志総合振興局(倶知安町)	5.1%	6.4%	岐阜市役所	27%	27%
空知総合振興局(岩見沢市)	10%	12%	静岡市役所	70%	70%
上川総合振興局(旭川市)	0.55%	0.76%	名古屋市役所	46%	46%
留萌振興局(留萌市)	1.8%	2.4%	津市役所	64%	64%
宗谷総合振興局(稚内市)	1.1%	1.6%	大津市役所	11%	13%
オホーツク総合振興局 (網走市)	3.7%	4.1%	京都市役所	13%	15%
胆振総合振興局(室蘭市)	8.5%	9.1%	大阪市役所	55%	30%
日高振興局(浦河町)	70%	69%	神戸市役所	44%	46%
十勝総合振興局(帯広市)	22%	23%	奈良市役所	61%	62%
釧路総合振興局(釧路市)	69%	71%	和歌山市役所	58%	68%
根室振興局(根室市)	78%	80%	鳥取市役所	6.4%	9.3%
青森市役所	5.7%	5.0%	松江市役所	3.7%	4.9%
盛岡市役所	4.6%	6.3%	岡山市役所	42%	44%
仙台市役所	6.1%	7.6%	広島市役所	23%	24%
秋田市役所	8.1%	10%	山口市役所	5.9%	6.3%
山形市役所	3.8%	4.2%	徳島市役所	73%	75%
福島市役所	7.1%	9.3%	高松市役所	63%	64%
水戸市役所	81%	81%	松山市役所	45%	46%
宇都宮市役所	14%	13%	高知市役所	75%	75%
前橋市役所	7.2%	6.4%	福岡市役所	8.2%	6.2%
さいたま市役所	55%	60%	佐賀市役所	8.2%	9.2%
千葉市役所	85%	62%	長崎市役所	2.6%	3.0%
東京都庁	48%	47%	熊本市役所	7.7%	11%
横浜市役所	51%	38%	大分市役所	54%	55%
新潟市役所	13%	15%	宮崎市役所	44%	43%
富山市役所	5.2%	5.2%	鹿児島市役所	18%	18%
			那覇市役所	20%	21%

赤字：2020年版で5%以上増加 青字：2020年版で5%以上減少 黒字：5%以上の変化なし*

*丸めにより見かけ上変化していない地点を含む

※横浜市役所は移転後の位置（2020年6月29日に全面移転）

※鳥取市役所は移転後の位置（2019年11月15日に全面移転）

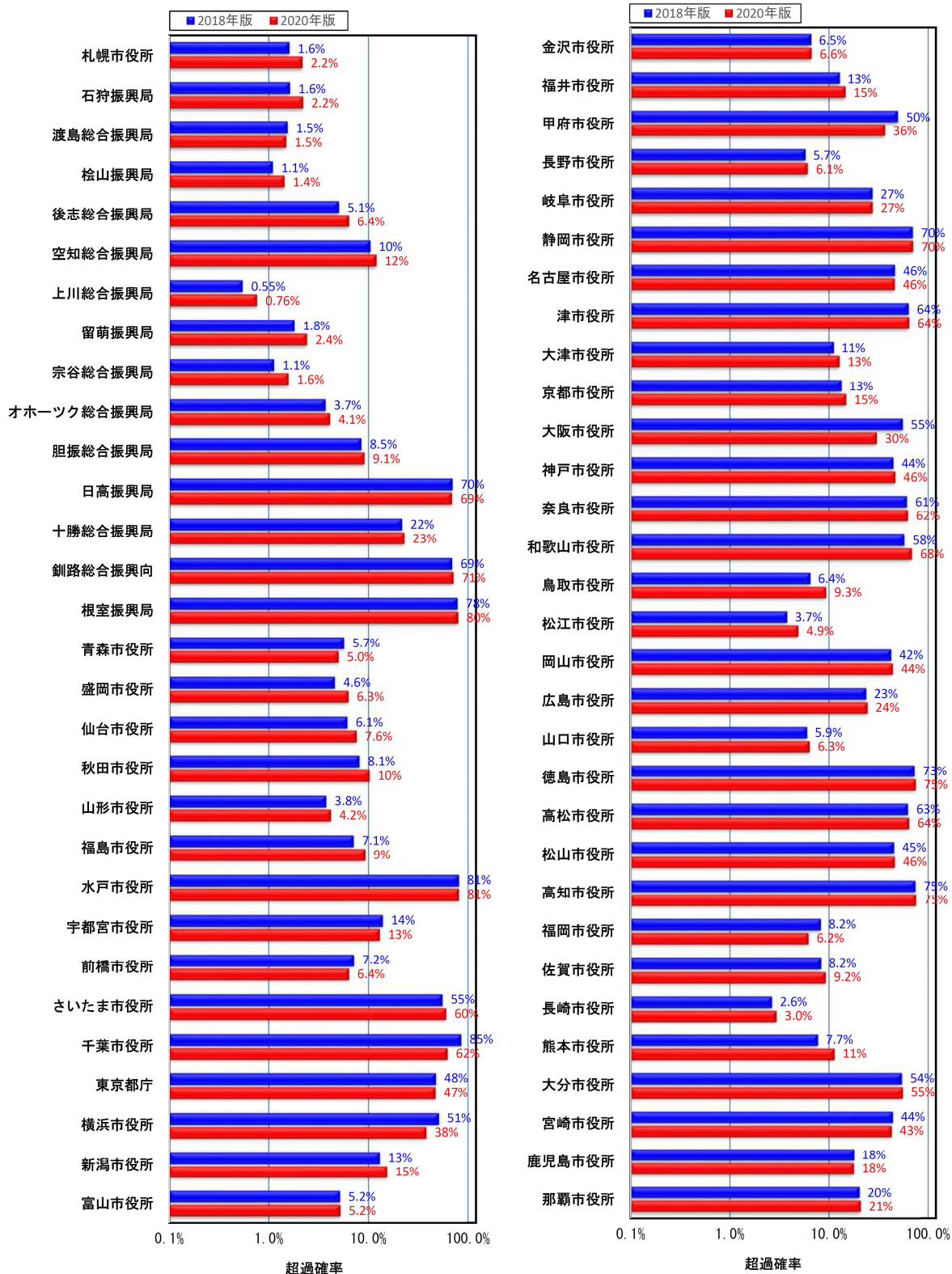


図 2.2.1-2 都道府県庁所在地の市役所（東京都は都庁）及び北海道の各振興局位置における今後 30 年以内に震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率値の比較

表 2.2.1-2(1) 都道府県庁所在地の市役所（東京都は都庁）及び北海道の各振興局位置における微地形区分及び増幅率（工学的基盤（Vs=400m/s）～地表）の比較

地名	2018年版		2020年版		2020 /2018
	微地形区分	増幅率	微地形区分	増幅率	
札幌市役所	扇状地	1.29	扇状地	1.29	1.00
石狩振興局	扇状地	1.31	扇状地	1.31	1.00
渡島総合振興局	砂礫質台地	1.07	砂礫質台地	1.07	1.00
桧山振興局	砂礫質台地	1.06	砂礫質台地	1.06	1.00
後志総合振興局	後背湿地	1.97	後背湿地	1.97	1.00
空知総合振興局	後背湿地	2.07	後背湿地	2.07	1.00
上川総合振興局	扇状地	1.13	扇状地	1.13	1.00
留萌振興局	谷底低地	1.48	谷底低地	1.48	1.00
宗谷総合振興局	埋立地	1.55	埋立地	1.55	1.00
オホーツク総合振興局	砂礫質台地	1.13	砂礫質台地	1.13	1.00
胆振総合振興局	三角州・海岸低地	1.75	三角州・海岸低地	1.75	1.00
日高振興局	砂丘	1.85	砂丘	1.85	1.00
十勝総合振興局	扇状地	1.24	扇状地	1.24	1.00
釧路総合振興局	ローム台地	1.47	火山灰台地	1.47	1.00
根室振興局	ローム台地	1.39	火山灰台地	1.39	1.00
青森市役所	砂州・砂礫州	1.44	砂州・砂礫州	1.44	1.00
盛岡市役所	扇状地	1.14	扇状地	1.14	1.00
仙台市役所	砂礫質台地	1.03	砂礫質台地	1.03	1.00
秋田市役所	三角州・海岸低地	1.86	三角州・海岸低地	1.86	1.00
山形市役所	扇状地	1.10	扇状地	1.10	1.00
福島市役所	扇状地	1.19	扇状地	1.19	1.00
水戸市役所	後背湿地	2.22	(後背湿地)	1.99	0.90
宇都宮市役所	ローム台地	1.30	(火山灰台地)	1.15	0.89
前橋市役所	砂礫質台地	1.21	(火山山麓地)	1.20	0.99
さいたま市役所	ローム台地	1.76	(火山灰台地)	1.83	1.04
千葉市役所	埋立地	2.23	(埋立地)	1.54	0.69
東京都庁	ローム台地	1.49	(火山灰台地)	1.45	0.97
横浜市役所	砂州・砂礫州	1.44	(砂州・砂礫州)	1.21	0.84
新潟市役所	三角州・海岸低地	2.22	三角州・海岸低地	2.22	1.00
富山市役所	扇状地	1.39	扇状地	1.39	1.00

赤字：2020年版の方が増幅率大 青字：2020年版の方が増幅率小

※2020年版の関東地方の微地形区分は参考情報（増幅率が浅部・深部統合地盤構造モデル（2021年版）に基づくため）

※横浜市役所は移転後の位置（2020年6月29日に全面移転）

表 2.2.1-2(2) 都道府県庁所在地の市役所（東京都は都庁）及び北海道の各振興局位置における微地形区分及び増幅率（工学的基盤（Vs=400m/s）～地表）の比較

地名	2018年版		2020年版		2020 /2018
	微地形区分	増幅率	微地形区分	増幅率	
金沢市役所	砂礫質台地	1.15	砂礫質台地	1.15	1.00
福井市役所	後背湿地	2.09	後背湿地	2.09	1.00
甲府市役所	扇状地	1.07	扇状地	1.07	1.00
長野市役所	扇状地	1.04	扇状地	1.04	1.00
岐阜市役所	扇状地	1.34	扇状地	1.34	1.00
静岡市役所	扇状地	1.28	扇状地	1.28	1.00
名古屋市役所	砂礫質台地	1.30	砂礫質台地	1.30	1.00
津市役所	砂州・砂礫州	1.44	砂州・砂礫州	1.44	1.00
大津市役所	扇状地	1.12	扇状地	1.12	1.00
京都市役所	扇状地	1.21	扇状地	1.21	1.00
大阪市役所	三角州・海岸低地	2.12	砂州・砂礫州	1.44	0.68
神戸市役所	自然堤防	1.87	自然堤防	1.87	1.00
奈良市役所	後背湿地	1.99	後背湿地	1.99	1.00
和歌山市役所	砂州・砂礫州	1.44	三角州・海岸低地	1.75	1.21
鳥取市役所	三角州・海岸低地	1.81	三角州・海岸低地	1.81	1.00
松江市役所	砂州・砂礫州	1.44	埋立地	1.48	1.02
岡山市役所	三角州・海岸低地	1.81	三角州・海岸低地	1.81	1.00
広島市役所	干拓地	1.68	干拓地	1.68	1.00
山口市役所	扇状地	1.23	扇状地	1.23	1.00
徳島市役所	三角州・海岸低地	1.75	三角州・海岸低地	1.75	1.00
高松市役所	三角州・海岸低地	1.75	三角州・海岸低地	1.75	1.00
松山市役所	扇状地	1.28	扇状地	1.28	1.00
高知市役所	旧河道	1.94	三角州・海岸低地	1.75	0.90
福岡市役所	砂丘	1.85	砂州・砂礫州	1.44	0.78
佐賀市役所	三角州・海岸低地	2.05	三角州・海岸低地	2.05	1.00
長崎市役所	砂礫質台地	0.98	砂礫質台地	0.98	1.00
熊本市役所	砂礫質台地	1.28	砂礫質台地	1.28	1.00
大分市役所	三角州・海岸低地	2.07	三角州・海岸低地	2.07	1.00
宮崎市役所	三角州・海岸低地	1.75	三角州・海岸低地	1.75	1.00
鹿児島市役所	三角州・海岸低地	2.04	三角州・海岸低地	2.04	1.00
那覇市役所	岩石台地	1.12	岩石台地	1.12	1.00

赤字：2020年版の方が増幅率大 青字：2020年版の方が増幅率小
 ※鳥取市役所は移転後の位置（2019年11月15日に全面移転）